

従来の壁面緑化は壁に金網などを張っていたが、植栽樹種によっては壁面の被覆に時間を要したり、維持管理が必要であったりと様々な問題があった。「ヘデラ登ハンシステム」は、壁面緑化の課題であった“早期被覆”“管理の省力化”を可能にしたシステムである。

特徴1：ヘデラの性質に最適な登ハンマット
ヘデラ類の気根の吸着形態に合った天然素材のヤシ繊維による“登ハンマット”を採用。ヘデラ類の登はん緑化が可能。

特徴2：金網の併用により確実な登はんを実現
登ハンマットと立体金網を一体化させ、ヘデラ類の確実な登はんを実現。同時に強風や積雪、自重によるヘデラの剥離落下も防止。

特徴3：設置時から自然な風合い
登ハンマットに天然素材のヤシ繊維を用いることで、設置時からの景観回復に機能を発揮。



愛・地球博（愛知万博）内で採用されました
グローバループエレベータ外壁面と（左）バイオ・ラング（右）

■主な施工事例



名古屋市千種文化小劇場「ちくさ座」
第3回屋上・壁面・特殊緑化技術
コンクール国土交通大臣賞 受賞



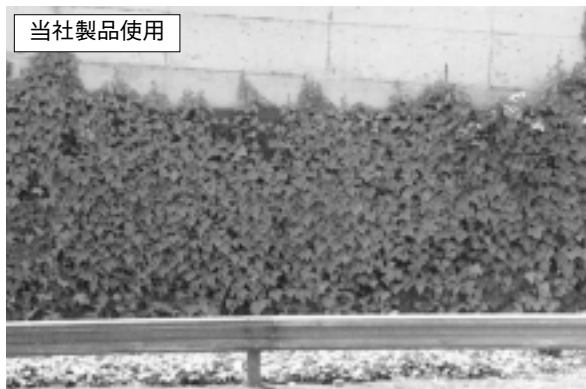
マンション屋上のフェンス
屋上室外機の目隠しとして利用
（東京都港区）



住宅地のコンクリート擁壁
歩道側のコンクリート擁壁面の修景に
利用（神奈川県横浜市）

■ツル植物の登はん形態と壁面緑化

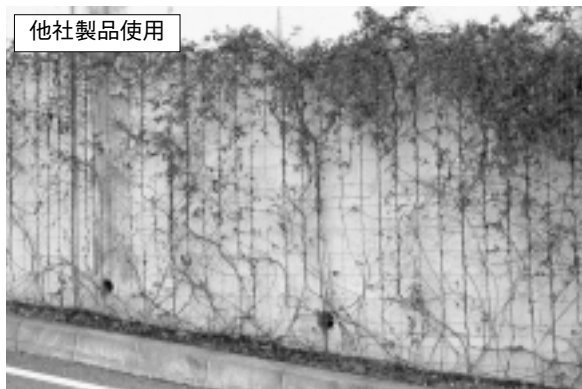
当社製品使用



付着型ツル植物による壁面緑化

- ・全面平滑的に密な景観をつくる
- ・管理が容易な樹種が多い

他社製品使用



巻つる・巻きひげ型ツル植物による壁面緑化

- ・つるの生長にともない、上部が密で下部が疎になり易い
- ・つる同士が絡まり、団子状になるなど見苦しい景観をつくること
が多いため、剪定管理が必要